

創業101周年記念 社長あいさつ

代表取締役社長

吉川和良

ご安全に！

5月23日、わが社は創業101周年を迎えることができました。平素よりお客様や地域の方々をはじめ、関係先の皆様には格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。また、今日まで当社の伝統と技術を継承してこられた諸先輩方と社員の皆様の不断の努力、それを支えるご家族の皆様のご協力、社業発展にご尽力いただいているすべての皆様に、心より感謝いたします。さて、今年の創業記念日も多数の社員の皆様を表彰させていただくことができました。まずは受賞者の皆様方、誠に改めてとうございます。

永年勤続表彰を受賞された合計²⁰⁶名の皆様におかれましては、永年にわたり社業発展にご尽力いただき、ありがとうございます。今回は永年勤続40年表彰を受けられた方が全社で34名もおられます。皆様が入社された当時の古川工業は、1982年の溶射事業所開設、1983年の古川機械工業(株)設立、1984年の古川セミコンダクタ(株)設立など、鉄鋼事業で培ってきた技術力や現場力を生かし、新たな事業分野にチャレンジしている転換期でした。現在の当社がさまざまな事業分野で基盤を築くことができているのは紛れもなく、皆様の「尽力があったから」でございます。改めて感謝申し上げます。業務表彰では、グループ会社を含め19件の表彰があり、このうち12件はお客様の信頼獲得に寄与した案件でした。コロナ禍で私たちの事業を取り巻く環境が変わり厳しさを増す中、目の前のお客様一人ひとりのご期待に応える地道な努力が実を結んだものです。受賞者の皆様の多大な貢献に、心より感謝申し上げます。

発明改善、改善提案、YJK活動では、コロナ禍で取り組みが計画的に進めることが難しい中、昨年同様に活発に取り組んでこられた方々を表彰させていただきました。受賞者の皆様が目の前の仕事に問題意識を持ち、一つひとつ小さな改善を積み重ね形にしていく姿勢を貫いてきた成果でございます。これからは是非、

同じ職場の仲間たちの模範となり、日々改善の伝統を次世代につないでいただくよう、よろしく願います。

昨年、当社は創業100周年という記念すべき節目を迎え、次の100年に向けた新たなスタートを切りましたが、今日までの1年間は決して平坦な道のみではございませんでした。この1年間だけでも新型コロナウイルスの感染拡大はさらに深刻な状況となり、私たちの日常を変え、会社を取り巻く環境も厳しさを増しております。

このような中でも今日の日を迎えることができたのは、苦難の中でも社員の皆様がチャレンジと団結を忘れず、お客様をはじめ、関係先の負託に応える姿勢を貫き、信頼を積み重ねてきた結果に他なりません。創業以来100年の歴史においても、厳しい試練の時期を都度、社員の皆様のチャレンジ精神とひたむきな努力、そして団結力で乗り越えてまいりました。時代が変わり環境が変わった今でも、私たちが諸先輩方から学んできた伝統や価値観は確かに受け継がれているのです。

そして今も、私たち古川工業は次の100年に向けたチャレンジをはじめようとしています。永年勤続40年表彰の受賞者の皆様が入社された当時と同じように、正に今も会社の転換期であり、次の100年に向けた基盤をつくる大切な時期です。ペテランも若手も社員の皆様が手を取り合い、新しいチャレンジに向け心を一つにできるよう、期待しています。

社員の皆様にとってこの創業記念日が、私たちに確かに受け継がれている伝統を振り返り、ここまでの成長を実感するとともに、新たなチャレンジに向け想いを一つにする良い機会となりますよう、心から願っております。

最後になりますが、社員とご家族の皆様のご安全と健康、今後益々のご多幸を祈念いたしまして、創業101周年の挨拶とさせていただきます。ご安全に！